科目名	母性看護学演習ⅡA Maternity Nursing Seminar ⅡA	担当教員 (研究室番号)	大平 肇子（104） 岩田 朋美（101） 杉山 泰子（103）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
										遠隔授業	一部

科目目的	母性看護の対象を理解するための関連理論、看護実践の支持理論を活用しながら、周産期にある母子とその家族の健康課題・健康問題を的確に診断し、プライマリーケアとクリティカルケアの観点から援助方法を探究する。	
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標	１．母性看護に関連する各種理論をふまえ、周産期にある母子とその家族の健康課題・健康問題への援助方法について考察することができる。 ２．周産期にある母子とその家族の生活反応、健康状態、適応状態の特性を理解し、母子とその家族の健康課題・健康問題解決に向けた看護職者の役割について考察することができる。	
成績評価方法(基準)	レポート（50%）、プレゼンテーション（40%）、ディスカッションへの参加状況（10%）	
教科書	特に指定しない。	
参考書等	必要時に提示する。	
受講者へのメッセージ	主体的・積極的な取り組みを期待します。	
備考		

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解	科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習（文献・事例検討）について	大平	対面(講義)
２回	周産期の母子とその家族へのプライマリーケア①	周産期の生活反応、健康状態、適応状態の特性を学び、母子とその家族の健康課題・健康問題解決に向けたプライマリーケアについて理解を深める。	大平	ライブ配信
３回	周産期の母子とその家族へのプライマリーケア②	周産期ケアシステムとその組織化、周産期の母子をまもる保健政策・母子保健行政をふまえ、プライマリーケアの現状を分析し課題を見出す。	大平	対面(演習)
４回	周産期の母子とその家族へのプライマリーケア③	周産期にある母子とその家族へのプライマリーケアの観点から、臨床での体験事例をとりあげ、各種理論を活用しながら援助方法を検討する。	岩田	対面(演習)
５回	周産期の母子とその家族へのプライマリーケア④	周産期にある母子とその家族へのプライマリーケアの観点から、臨床での体験事例をとりあげ、各種理論を活用しながら援助方法を検討する。	杉山	対面(演習)
６回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケア①	周産期の生活反応、健康状態、適応状態の特性を学び、母子とその家族の健康課題・健康問題解決に向けたクリティカルケアについて理解を深める。	大平	ライブ配信
７回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケア②	周産期ケアシステムとその組織化、周産期の母子をまもる保健政策・母子保健行政をふまえ、クリティカルケアの現状を分析し課題を見出す。	大平	対面(演習)
８回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケア③	周産期にある母子とその家族へのクリティカルケアの観点から、臨床での体験事例をとりあげ、各種理論を活用しながら援助方法を検討する。	岩田	対面(演習)
９回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケア④	周産期にある母子とその家族へのクリティカルケアの観点から、臨床での体験事例をとりあげ、各種理論を活用しながら援助方法を検討する。	杉山	対面(演習)
10回	周産期医療ケアにおけるガイドライン①	プライマリーケアとクリティカルケアの観点から、周産期医療ケアにおけるガイドラインの意義について学ぶ。	大平	ライブ配信
11回	周産期医療ケアにおけるガイドライン②	周産期医療ケアにおけるガイドラインの推奨例に沿って、臨床での体験事例への看護実践の適切性・有効性について検討する。	大平	対面(演習)
12回	周産期医療ケアにおけるガイドライン③	周産期医療ケアにおけるガイドラインの推奨例に沿って、臨床での体験事例への看護実践の適切性・有効性について検討する。	大平	対面(演習)
13回	周産期ケアシステムと看護職者の役割①	周産期救急医療提供体制、周産期医療ネットワークなど多様な健康状態にある母子やその家族への支援に必要な社会システム構築について理解を深め、看護職者の役割について考察する。	大平	ライブ配信
14回	周産期ケアシステムと看護職者の役割②	地域における子育て世代包括支援システム、産後ケア事業など切れ目のない母子や家族への継続支援に必要な社会システム構築について理解を深め、看護職者の役割について考察する。	大平	ライブ配信
15回	まとめ	周産期にある母子とその家族へのプライマリーケアとクリティカルケアにおける課題についてまとめ、焦点化する。	大平	対面(演習)